

市内を巡って魅力を再発見

成田 ちょい旅

第6回 市役所から

普段は通り過ぎてしまう道も、ゆっくり歩いてみたら面白い発見があるかも。市内の道を実際に歩いて見つけた、すてきなスポットを紹介します！



表参道に並ぶ十二支の石像

並んでいるお店に目移りしてしまう成田山表参道ですが、歩道にも面白いものが。「ね・うし・とら・う…」と、十二支の動物を見つけながら歩いてみても楽しめるかもしれません。



駅前のからくり時計

JR・京成成田駅の参道口近くにある時計台。午前8時から午後8時まで(金・土曜日は午後10時まで)、1時間ごとにからくり人形がお囃子の演奏と歌舞伎の演技を披露してくれます。



成田山公園

成田山新勝寺

電車道

表参道

栗山公園

市役所



涼を感じられる雄飛の滝

成田山公園内にある雄飛の滝。こけむした岩と木立に囲まれた中で、約20メートルの高さから落ちる滝の水音を楽しめます。



電車道のトンネル

100年以上前に造られたこのトンネル。れんがの色あせた様子などから、その歴史を感じることができます。

実際に歩いてみました



今回は、市役所をスタートして、成田駅前のからくり時計、成田山表参道、成田山公園、電車道を通り、およそ8,000歩で5.5kmを歩きました。歩いた歩数の半分近くは成田山公園内を散策した時のもの。改めてその広大さを感じました。マップで取り上げたのは「雄飛の滝」のみですが、竜

智の池にある「浮御堂」や涼しげな水音を楽しめる「水琴窟」など、見どころが多くありました。

今回のコースでは、外国人などの観光している人を多く見かけました。年間約1,000万人が訪れる成田山新勝寺をはじめ、グルメも土産物も景観も楽しめる表参道など、観光名所を巡ることができるので、多くの人が楽しめるコースかもしれません。

編集後記

広報課に配属となり2カ月がたちました。初めて扱う一眼レフカメラに苦戦しつつも、先輩にコツを教わりながら取材に奮闘しています。光の量や構図、ボケ感など、シャッターを切るまでに、さまざまな工夫が重なっていることを実感する毎日。9ページに掲載している「成田伝統芸能まつり春の陣」の取材では、学んだことを思い出しながら撮影に挑みました。これからも撮影技術をさらに磨き、迫力ある動きや表情を皆さんにお届けできるよう頑張ります！

令和6年6月15日号 No.1509

成田市のホームページ

<https://www.city.narita.chiba.jp>

*QRコードは欄デンソーウェブの登録商標です



*本紙は6月6日時点の情報を掲載しています。最新情報は各ページの問い合わせ先や市ホームページで確認してください。

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。